

あなたの声が

届いています

「市長への手紙」HOT函

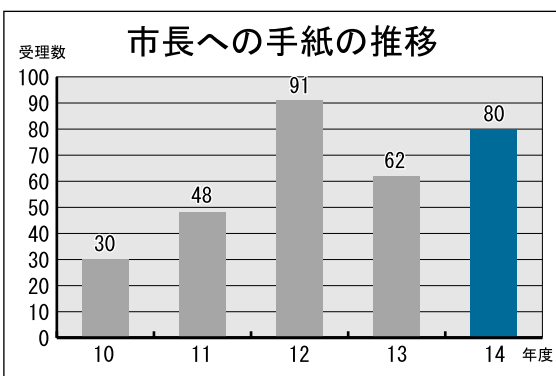


問 総務課 ☎49 3111(内線258)

市政について、意見や要望があるときには、「どうしますか?」「こうすればもっとよい大館になる」「私はこう思う」といった提言を、市長に対し手紙や電子メールで送ることができ、その仕組みがあります。それが、「市長への手紙 HOT函」と「市長への手紙 e HOT函」です。

寄せられた提言は、いずれも市長が目を通し、緊急性の高いものは、すぐに対処し、また今後の施策への参考になるものは、関係部局で検討しています。

昨年度の総数は、前年度を上回る80件。そのうち電子メールによるものが43件と半数以上を占めています。



昨年度寄せられた手紙と回答の要旨を、紹介します。

「塩ビ」の種類の増やして

現在「塩ビごみ」として分別、収集されている物は、科学的に塩化ビニールでないものが多く、ほとんど発砲スチロール製の食品トレーで占められている現状で、本当の塩ビの物は、別扱いに回されているようです。

これでは何のための分別収集かわかりません。(70代・男性)

リサイクルプラザで、資源として活用する予定です

市では、沼館のごみ焼却施設からのダイオキシン発生が問題視されたときに、燃焼した際ダイオキシンの発生量が多い「塩ビ」ごみを、通常の燃やせるごみとは区別して焼却する手段をとりました。これにより、ごみ焼却施設からのダイオキシン発生量は、国の基準を下回りました。また、分別された「塩ビ」ごみは、花岡の株式会社同和クリーンテックスで焼却処分され、ダイオキシン発生量は国の基準を下回っています。

「塩ビ」製品はその種類が多く、相当数が出回っています。市では、分別収集を実施する際に、
①市民の皆さんができるだけ容易に分別ができるもの
②焼却の際に、ダイオキシンの発生量が多いもの

として6品目を限定しました。今後、新しいごみ処理施設が稼